

山梨支部

7月31日に甲府市で開かれた山梨支部(小野利彦支部長)懇談会には、昨年より大幅に多い86人が参加。高久健二文学部教授と下斗米淳人間科学部教授がそれぞれ学業と就職について説明した。ゼミや部長を務めるテニス部の合宿で富士五湖をよく訪れ、山梨県になじみがあるという徳田賢二経済学部教授は、学生の生活を「多事多能」と表現。人生はいかに些事をさばっていくかが大事と言った孔子の言葉通り、学生は限られたお金と時間のやり繰りに本当に忙しい」と語り、奨学金などの支援策を紹介した。



車座になり日高理事長と懇談するご父母・保護者

1年次生のご父母・保護者を対象としたグループ面談は日高義博理事長ご父母14人が自己紹介し、

ながら心情を吐露した。「学食で生田100食、神田50食提供している」100円朝食は大助かりでよく利用している「ようだ」という声には、日高理事長が「予想以上に好評で需要がある」と応じるなど、和やかに交流が進んだ。終盤には専大卒の小野支部長も加わり、就活のアドバイスも。長男(経済4)を例に「エントリーシートの書き方一つとっても就活はトレーニングが必要。経験のない子どもは不用意にNGワードを書いてしまうことがある」という経験談に、多くの参加者がうなずいていた。

このほか、個別面談が行われ、成績表の見方や出席状況、就職活動について教職員に相談。疑問や不安を解消した。充実した学内講座 矢崎 強さん 美紀さん ちょうど勤務先のライバル企業がインターシップを始めたという話に、就活の準備にインテンシブが欠かせないという話もあがり、息子は公務員試験に備えダブルスクールが必要かと考えていましたが、学内の公務員試験講座は内容が充実しているうえ、費用面でもリーズナブルと知り、勇気づけられました。(経済3男子の両親)

先輩に感謝の気持ち

植田 吉彦さん 理恵さん 息子は軽音楽研究会に入部し、サークルの先輩



就職活動体験を発表する谷口さん

福岡(博多)支部

8月27日、福岡市で開かれた福岡(博多)支部(谷口潤支部長)懇談会には33人が参加。あいさつに立った松本健一専務理事が本学の学生支援について紹介した。庄菊博友会主任教授(法学部教授)は「ご父母・保護者と本学を結ぶ『いいね』と云って、貴重な機会。大いに利用

に大変お世話になっていきます。感性が違う気がしますが、息子が距離を置いていた同じ1年次の男子学生さんを「君とすぐ合うと思うよ」と紹介、話す(経営1男子の両親) 4月から1人暮らしを始めた息子はどんな生活を送っているのか、バイト一つとっても心配でしつた。夏休みに1週間ほど帰省している話を聞いた時に、一回り大きくなったなあと感じました。教職員の方々や父母の皆さんとざっくばらんに話ができる支部懇談会に参加し、心配事を解消しました。来年もぜひ参加します。(経済1男子の母)

きっかけを作ってくれました。先輩のおかげで気の合う仲間もでき、今日は感謝の気持ちで参加しました。(経営1男子の両親) 4月から1人暮らしを始めた息子はどんな生活を送っているのか、バイト一つとっても心配でしつた。夏休みに1週間ほど帰省している話を聞いた時に、一回り大きくなったなあと感じました。教職員の方々や父母の皆さんとざっくばらんに話ができる支部懇談会に参加し、心配事を解消しました。来年もぜひ参加します。(経済1男子の母)

「何でも質問できる」 櫻木 朝喜さん 富美子さん 豊富な具体例で本書が探求するのは、クラフトに潜む「知性」である。ストラディヴァリウスの職人も、ピアノリストや

クラフツマン 作ることば考えることである 高橋勇夫訳 モノだけではない。社会も人格も人間性も作られるものであり、つねに「よりよいもの」に向かう途上にある。人間の未来は、作ることによって考えるクラフツマンの作品なのである。(筑摩書房・4000円十税) 記者(たかはし・いさお) 法学部教授。主な担当は英語。

育友会支部懇談会

東京A・B・C支部

東京A支部(鴨下邦広 幸支部長) 合同懇談会は

8月6日、神田キャンパスで開かれた。304人が、大学からの報告に耳を傾け、グループ面談や個人面談を通して大学生活へのさまざまな疑問を解消していた。

吉田弘道人間科学部教授、森住信人法学部准教授が学業、学生生活全般について解説した。

情報交換して納得

武井 嘉則さん 朝早いときは7時に家を出て、夜はバタンキューという日も多い娘と

なかなかなか話す機会がなく、大学での様子を確かしてみたくて参加しました。グループ面談で先生や4年次の保護者の方から話を伺うことで、そういうものなんだと納得。グループ面談の後、同学年の保護者の方々と情報交換ができました。(ネット情報1女子の父)

息子は陸上部で正月の箱根駅伝出場を目指し、汗を流しています。先日長野県伊那市で合宿中と連絡がありました。陸上部監督からアドバイスをいただき、寮生活なので食事など生活面は安心ですが、学業面が心配。個人面談でなんでも質問できるのありがたいこと。本人はインターン就職を希望。就活の立ち上がりは早く、この体験談は参考になりました。(商3男子の両親)

ビジネス・レジリエンス 思考法 ーリスクマネジメントによる危機克服と成長

方法や方策を具体的に検討している。 レジリエンスは、そのための思考を育んでくれる概念であり、それをもとに幸福への道に進むための方策でもある。本書ではビジネス・レジリエンスの思考を普段から企業内に組み込み、マネジメントし、最終的には幸福感を実感できるための諸策の提言を行っている。企業の復元力のみなならず、個人の復元力の醸成にも役立つ著書である。(同文館出版・2300円十税) 著者(うえた・かずお) 法学部教授。主な担当は、リスクマネジメント、保険論、企業倫理。



育友会活動について説明する出雲会長

8月6日、神田キャンパスで開かれた。304人が、大学からの報告に耳を傾け、グループ面談や個人面談を通して大学生活へのさまざまな疑問を解消していた。

関支部長が「保護者が一堂に会して話を聞く機会があるのはありがたい。家族で情報を共有して、入学してよかったと思える学校づくりに協力したい」とあいさつ。出雲高志育友会長は「親同士交流を深めていただければ、大学の状況を理解して子どもとコミュニケーションを深めるきっかけにしたい」と述べた。

坂本武憲副学長は神田新キャンパス構想について、

直接話ができる大学で本当によかったと思えます。質実剛健の気風の専大は息子にも親にも合っていた。息子は就職活動でスーツに専大のバッジを着けていたら、企業の方から「専大ですね」と声をかけられたのがうれしかったそうです。就職グループ面談ではそのエピソードをお話しして、これまでのお礼を述べました。(法4男子の母)



大学からの説明に真剣に耳を傾ける

息子は陸上部で正月の箱根駅伝出場を目指し、汗を流しています。先日長野県伊那市で合宿中と連絡がありました。陸上部監督からアドバイスをいただき、寮生活なので食事など生活面は安心ですが、学業面が心配。個人面談でなんでも質問できるのありがたいこと。本人はインターン就職を希望。就活の立ち上がりは早く、この体験談は参考になりました。(商3男子の両親)

ビジネス・レジリエンス 思考法 ーリスクマネジメントによる危機克服と成長

方法や方策を具体的に検討している。 レジリエンスは、そのための思考を育んでくれる概念であり、それをもとに幸福への道に進むための方策でもある。本書ではビジネス・レジリエンスの思考を普段から企業内に組み込み、マネジメントし、最終的には幸福感を実感できるための諸策の提言を行っている。企業の復元力のみなならず、個人の復元力の醸成にも役立つ著書である。(同文館出版・2300円十税) 著者(うえた・かずお) 法学部教授。主な担当は、リスクマネジメント、保険論、企業倫理。